

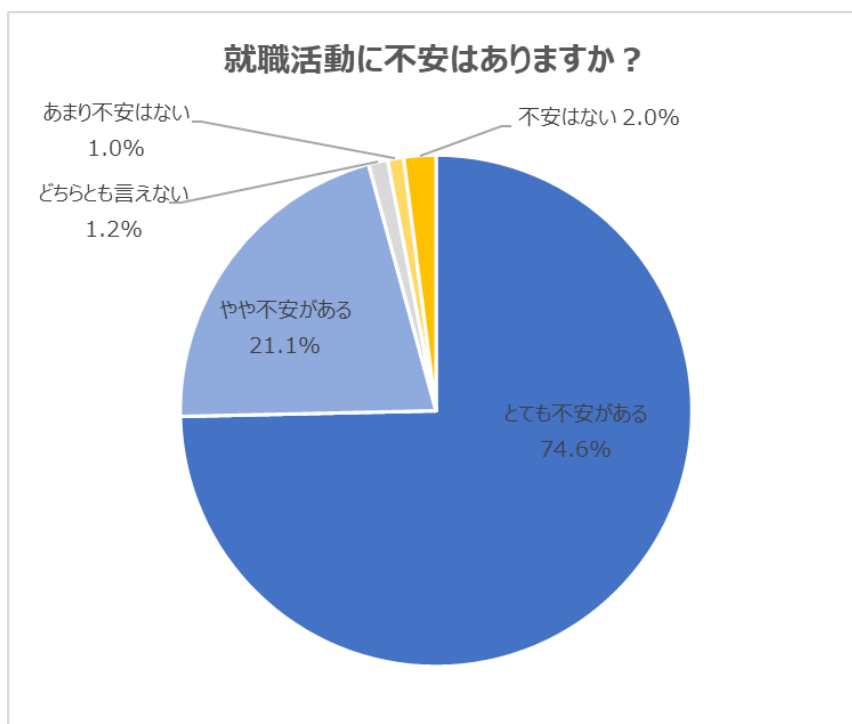
【2022年卒】就職活動に「不安」を抱いている学生が95.7%。「コロナ禍で友だちとも会えず、相談できる機会がない」の声。自信のある面接形式は「リアル」が「オンライン」をわずかに上回る。

株式会社学情は、は、2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「就職活動の自信・不安」に関して調査しました。就職活動に「不安」を抱いている学生が95.7%に上り、多くの学生が不安を抱いていることが分かります。「コロナ禍で友だちとも会えず、相談できる機会がない」「インターンシップもオンラインの開催が大半だったので、リアルで話す経験ができていない」などの声が寄せられました。一方、「面接はオンライン、リアルどちらの形式のほうが自信がありますか？」の質問においては、「リアル」「どちらかと言えばリアル」の回答（35.3%）が、「オンライン」「どちらかと言えばオンライン」の回答（33.4%）を、わずかに上回りました。「リアルで、面接官の目を見で話したほうが、入社したいという気持ちを伝えられると思う」「リアルのほうが、企業の雰囲気を感じることができる」などの声が寄せられています。

【TOPICS】

- （1）就職活動に「不安」を抱いている学生が95.7%。「コロナ禍で友だちとも会えず、相談できる機会がない」の声
- （2）就職活動で不安を抱いている点は「志望する企業の内定(内々定)を獲得できるか」が74.4%で最多
- （3）面接形式は、「リアル」に自信がある学生が35.3%、「オンライン」に自信がある学生が33.4%

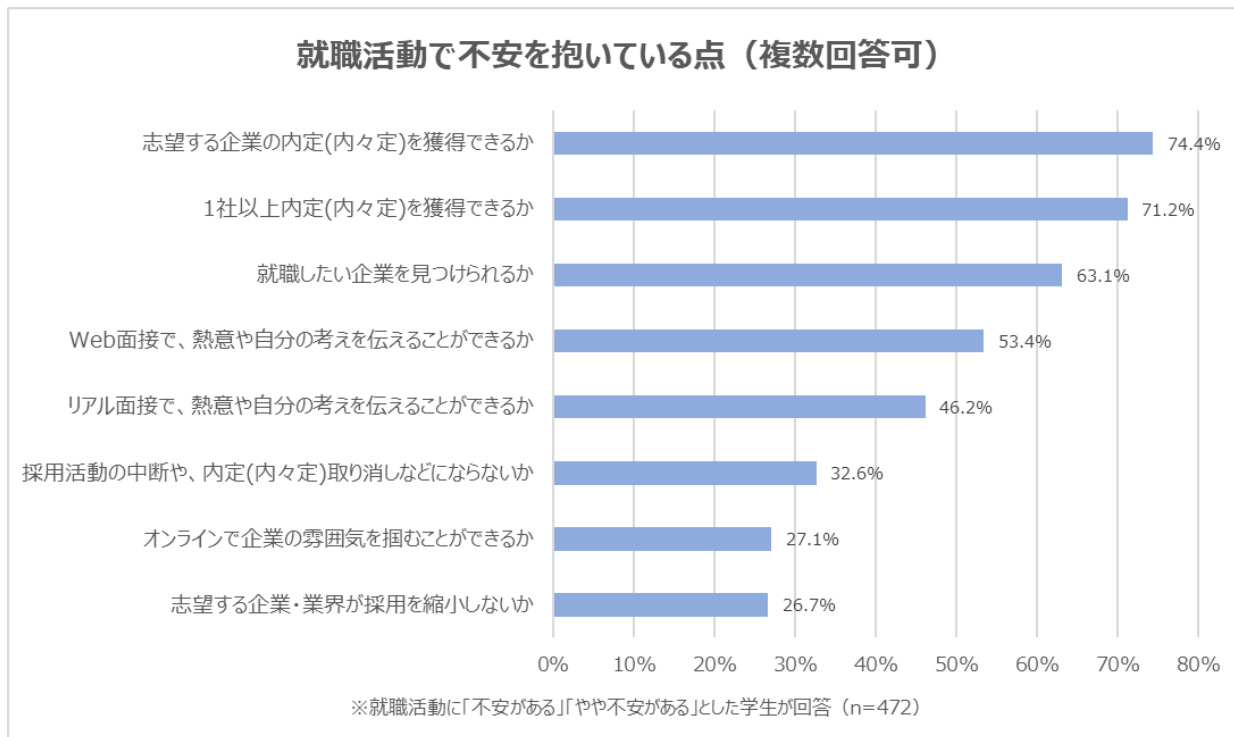
- （1）就職活動に「不安」を抱いている学生が95.7%。「コロナ禍で友だちとも会えず、相談できる機会がない」の声



「就職活動に不安はありますか？」の質問に対し、「とても不安がある」の回答が74.6%、「やや不安がある」の回答が21.1%となりました。95.7%の学生が、就職活動に不安を抱いていることが分かります。学生からは「コロナ禍で友だちとも会えず、相談できる機会がない」「コロナ禍で採用数が減ったり、採用のハードル

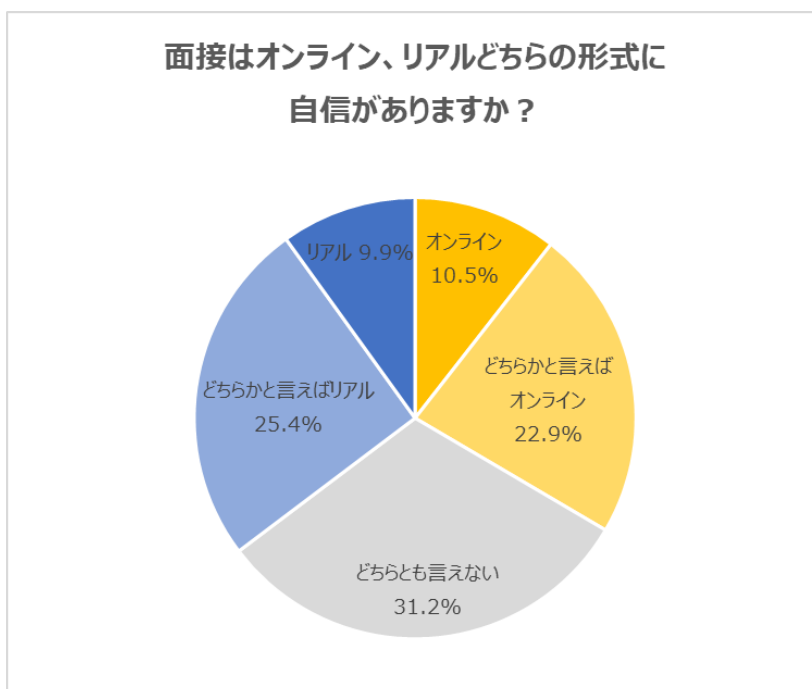
が上がったりするのではないか」「新型コロナウイルスの感染状況によって、説明会や選考が中止になったり、採用数が減ったりしないか」「インターンシップもオンラインの開催が大半だったので、リアルで話す経験ができていない」などの声が寄せられました。コロナ禍の就職活動では、先を見通せない部分や、リアルでのコミュニケーションが難しい部分があり、不安を抱いている学生が多いと推察されます。

(2) 就職活動で不安を抱いている点は「志望する企業の内定(内々定)を獲得できるか」が 74.4%で最多



就職活動で不安を抱いている点は「志望する企業の内定(内々定)を獲得できるか」が 74.4%で最多。次いで、「1社以上内定(内々定)を獲得できるか」71.2%、「就職したい企業を見つけられるか」63.1%と続きます。「Web面接で、熱意や自分の考えを伝えることができるか」(53.4%)は、「リアル面接で、熱意や自分の考えを伝えることができるか」(46.2%)を、7.2ポイント上回りました。

(3) 面接形式は、「リアル」に自信がある学生が 35.3%、「オンライン」に自信がある学生が 33.4%



「面接はオンライン、リアルどちらの形式に自信がありますか？」の質問においては、「リアル」「どちらかと言えばリアル」の回答が35.3%、「オンライン」「どちらかと言えばオンライン」の回答が33.4%となりました。「リアル形式」の面接に自信があるとする学生が、わずかに上回っています。「リアル」と回答した学生からは、「リアルのほうが、熱意を伝えやすい」「リアルで、面接官の目を見て話したほうが、入社したいという気持ちを伝えられると思う」「リアルのほうが、企業の雰囲気を感じることができると思う」などの声が寄せられました。一方、「オンライン」と回答した学生からは、「インターンシップもオンラインしか経験したことがない」「大学の授業も、この1年間はオンラインだったので、リアルで話すことに不安がある」などの声が挙がりました。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2022（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2021 年 2 月 17 日～2021 年 2 月 25 日
- ・有効回答数：493 名